

平成27年11月7日（土）13:00～17:45に
スパリゾートハワイアンズで開催しました！

メインテーマ： 産業・生業の再生／観光振興

復興の最終目標は、まちの賑わいを取り戻すこと。被災地では、安心して暮らせる「コミュニティの形成」、生活の糧である「産業・生業の再生」を進めるため、従来の手法や発想に捉われない「新たな挑戦」が進んでいます。

今回は、「産業・生業の再生」と「観光振興」を主たるテーマとして、成功事例等のノウハウや様々な主体が抱える課題を改めて共有するとともに、地域を超えて、今後の連携に向けたつながりを生み出すことを目的として、「新しい東北」交流会を開催しました。

当日は、約130団体から約300名の皆様にお越しいただきました。

※今回の交流会の様子は協議会のウェブサイト (http://www.newtohoku.org/works_detail_014) および Facebook ページでも紹介しています。 (<https://www.facebook.com/newtohoku>)

オープニング

若松復興副大臣からの挨拶の後、畠福島県副知事、清水いわき市長からご挨拶をいただきました。



基調講演 ～「産業・生業の再生」に向けた「新たな挑戦」～

最初に有限会社とまとランドいわきの元木専務取締役から「食と農、地域と街を結びつける地域活性への取組みについて」というタイトルで講演をいただいた後、会場スパリゾートハワイアンズの運営会社である常磐興産株式会社の斎藤相談役より「炭礦から観光へ、そして復興へ」というタイトルで同社の歩み等をお話いただきました。



「新しい東北」ミニトーク

「産業・生業の再生」、「観光振興」に向けて実際に取り組まれている12団体の皆さまに、取組内容や取組にける想い、今後の課題等をお話いただきました。



【発表団体】

ふるさと豊間復興協議会・特定非営利活動法人美しい街住まい倶楽部／東北協同乳業株式会社／
一般社団法人日本葡萄酒革進協会／アンデックス株式会社／
一般社団法人コミュニティスペースうみねこ／
特定非営利活動法人3.11被災者を支援するいわき連絡協議会／アサヒ電子株式会社／
一般社団法人南三陸町観光協会／株式会社GIRLS LIFE LABO／コドモエナジー株式会社／
株式会社有紀／ネットアンドプリント株式会社



専門家による商品アドバイス

百貨店OBの方や「究極のお土産」の審査員などをお招きし、東北の事業者の商品に対し、公開アドバイスを行いました。専門家の方からは、商品のネーミング、価格設定、パッケージデザイン、インターネットでの販売方法等について具体的なアドバイスがありました。



インバウンドセミナー

現在増加傾向にある、訪日外国人の消費を地域に取り込むためのツールとして有効な①免税店の支援制度、②スマートフォン等を活用した簡易なカード決済の仕組みについて、説明会を開催しました。



ブース出展

「産業・生業の再生」「観光振興」に取り組む33の企業・団体の方々ブースをご出展いただきました。
また、来場された事業者の方が抱える課題について相談できる“相談コーナー”でも、活発に相談が行われました。

《ブース出展者》

福島県（企画調整課・広報課）
 福島県（土木部）
 福島県（観光交流局）
 福島県（商工労働部）
 福島県いわき市
 国立研究開発法人科学技術振興機構
 国立大学法人岩手大学
 国立大学法人福島大学つくしまふくしま未来支援センター
 アサヒ電子株式会社
 アンデックス株式会社
 株式会社磐城高菅
 株式会社いわきチョコレート
 コドモエナジー株式会社
 一般社団法人コミュニティスペースすみねこ
 除染情報プラザ
 東北協同乳業株式会社
 独立行政法人都市再生機構
 株式会社ニーズ



一般社団法人日本葡萄酒革進協会
 広野サステナブルコミュニティ推進協議会/
 いわきおてんとSUN企業組合
 ふるさと豊間復興協議会/NPO法人美しい街住まい倶楽部
 株式会社みずほ銀行
 一般財団法人南三陸町観光協会
 株式会社有紀
 株式会社ライフブリッジ



【相談コーナー】

日本百貨店協会
 株式会社ローソン
 楽天株式会社
 コイニー株式会社
 株式会社日本政策金融公庫
 株式会社東日本大震災事業者再生支援機構

～来場者の声～

今まで知らなかった取組を多く知ることができ、アイデアの幅が広がりました！

～出展者の声～

これまでとは異なる視点からアドバイスをもらえて良かったです。

パネル展示

被災地の現状や、会員の皆さま・復興庁の事業に参画されている皆さまが被災地でされている「新たな挑戦」や復興支援活動を紹介するパネルを展示しました。

「究極のお土産」展示（「新しい東北」官民共同PR事業）

「新しい東北」官民共同PR事業「世界にも通用する究極のお土産－新しい東北の挑戦－」で一次審査を通過した112商品の中から、40品以上のお土産を展示しました。



学生ワークショップ「観光で被災地を元気に！ ～みんなで考える復興ツーリズム～」

関西の学生と東北の学生で、観光で被災地を元気にするため、効果的な復興ツーリズムについて議論を行いました。約50名の高校生・大学生が8グループに分かれて議論し、最後に参加者全員でまとめた提案をミニトーク会場で発表しました。



懇親会

懇親会のプログラムとして、フラダンス甲子園優勝校、いわき総合高等学校 家庭クラブ フラチーム アロヒミノアカによるフラダンスと、スパリゾートハワイアンズのフラガールによるポリネシアンショーが披露されました。また、「新しい東北」キッチン（「新しい東北」官民共同PR事業）で紹介している“東北の美味い！”を伝える料理を3品提供し、お楽しみいただきました。



～ご協力・ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました～

お問い合わせ

※当交流会の開催については、復興庁からみずほ総合研究所へ委託しています。

新しい東北

検索

いいね!

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局（みずほ総合研究所） 岩城・水野

WEBサイト: <http://www.newtohoku.org/>

E-mail: nt-info@mizuho-ri.co.jp TEL: 03-3591-8773（平日9:30～17:30）

Facebook: <https://www.facebook.com/newtohoku>

主催：新しい東北 官民連携推進協議会（事務局：復興庁）

復興庁
Reconstruction Agency